

平成二年に



成人式を
迎える方へ

平成二年一月十五日に成人式を迎えるのは、昭和四十四年四月二日から四十五年四月一日までに生まれた方です。

市外、県外に在住（住民票が市外の場合など）している方で、南州市の成人式に出席したい方は、早めに市教育委員会社会教育課（☎2111 内線321）まで連絡してください。

日時 一月十五日(月)午後一時三十分から

場所 空港会館

【社会教育課】

可燃ごみは

市の指定ごみ袋で

現在、市民の皆さんに使用していただいている指定ごみ袋は、香南清掃組合加入の七カ市町村がすべて同じ模様をしています。が、それぞれの市町村により色が分けをし、区別をしています。南州市はヤマモモ色（市の木に指定しているヤマモモに由来する）のものを指定ごみ袋としており、それ以外は指定袋ではありません。

最近、数カ所のごみステーション

ヨンへ他町村の指定ごみ袋（土佐山田町の青色、野市町の緑色等）が交じって出され、ごみ収集業務に支障をきたしています。つきましては、可燃ごみを出す場合、南州市指定のごみ袋以外はすべて取り残し、収集はいたしませんので、絶対にごみステーションへ出さないようご注意ください。

【生活環境課】

同和教育シリーズ

部落に対する誤った俗説③

長崎県対馬と朝鮮半島はわずか五三しか離れておらず、太古から深い交流があり、大陸の優れた文化は朝鮮半島の人々によつて日本に伝えられ、日本の政治、経済、文化の発展に大きな役割を果たしてきました。

朝鮮半島からの血筋は、庶民だけでなく天皇家にもかなり入っています。前回述べた開化天皇の妃のほか、光仁天皇の勅の中にも「百済王は私の母方の親類なので、その血筋の者に爵位を授ける」とあります。桓武天皇、嵯峨天皇、仁明天皇の後も百済の帰化人でした。また、京都（平安京）への遷都という大

事業を成し遂げた桓武天皇の生母は、高野羅雲という百済系の帰化人で、遷都のための多額の費用のうち、かなりの部分は帰化人の寄付や、朝鮮半島で募金されたものだと言えられています。

今日、在日韓国人や在日朝鮮人が日本社会で厳しい差別を受け、就職、結婚その他で苦しん

の「殺生をすると地獄へおちる」という教えを利用したと思われ

ます。その一方、貴族の鷹狩りや獣狩りは少しも卑しめられないばかりか、天皇自身も「御園」と言つて肉食をしているところをみても、牛馬を殺すことを禁止した理由は、宗教ではなく経済にあることがわかります。

戦国時代には、皮革は武具の材料としてたいせつにされ、それまで百姓が作っていたのを専門業者の手に任せ、「御皮師」として優遇しました。堺の納屋衆の一人、皮屋紹鷗は皮革を扱う富商で、茶道中興の祖と言われ、弟子に千利休がいます。また、江戸初期の広島城下草屋町の山形屋は、馬具製造で有名でしたが、もとは福島正則の家臣でした。

皮を扱う人を卑しむようになったのは、江戸中期以降、徳川幕府の身分制度が定着するなかで、部落の人たちにその仕事を押しつけ、卑しい仕事として差別させる政策をとつたためです。

十一月十五日号の「新撰姓氏録の総数一万一千八十三氏」は「一千百八十三氏」の誤りでしたので、訂正いたします。